

整理番号：9-1

提言題名：デコトング・コンテストについて

### 【提言の要旨】

デコトング、ダサイなーとは思いましたが、トングを飾るだけなら害もないしいいか、と  
思っていました。しかし、バナーを見ると子どもがゴミを拾っている画像がついていて、と  
んでもないと思いました。今は、コロナ禍です。親御さんがいくら気をつけても、なかなか  
理解しない子ども達に苦勞し精神をすり減らしている時期です。「透明ハンド」と言って触  
れないハイタッチや握手を考えだしている人もいます。その方が建設的です。落ちたマスク  
を拾うのも危ないです。褒められるために子どもがそうしてしまって、感染したら責任をと  
れますか。パブリックな機関がそういったメッセージを発信してしまってはいけません。

子どもがゴミ拾いをする＝えらい

子どもが素手でトイレ掃除をする＝えらい

という図式はもうやめてください。危険の理解が出来ない子どもに、大人の欲しい美談を押  
しつけるのはナンセンスです。ゴミが多いと思うならば、プロの知識を持った清掃員を雇う  
べきです。そこにお金をかけるのならば、市民は文句を言わないでしょう。微笑ましいとか、  
そういった大人の喜びのために、子どもを犠牲にしないでください。パブリックな機関が出  
すメッセージの重みと責任を理解して広報してください。

(令和2年8月受付)

### 【回答の要旨】

このたびは今回の事業に関して、大変ご不快なお気持ちにさせていただきましたことにつ  
いて、お詫び申し上げます。

今回のデコトング・コンテストは、自宅の庭や周辺など身近な場のゴミ拾いに使う金ハサ  
ミを、自分で自由にデコレーションすることで、環境美化に関心を持ってもらうきっかけ  
づくりになればという主旨のもと、実施しております。

注意事項に「人の敷地内には入らないようにしましょう」と記載しておりますとおり、清  
掃員を雇って掃除をしなければならないような公共の場などのゴミ拾いをお願いしている  
ものではありません（想定しておりますのは、前述のとおり「自宅の庭や周辺など身近な  
場」です）。また、コンテスト応募の条件としても、ゴミ拾いをしている写真については  
「あれば送ってください」と留めており、ゴミ拾いすること自体を必須の条件としている  
ものでもありませんので、その意図をご賢察ください。

なお、当事業を主催している取手市民憲章推進協議会（事務局：市民協働課）では、例  
年、花火大会翌日の清掃などの美化ボランティア活動を実施しています。数多くの子ども  
達や親子連れが、大人や団体の皆さんと一緒に、自発的に清掃に参加されていま  
す。

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、集団での活動やイベントにはリス

クが伴うことから美化ボランティア活動を中止させていただきました。しかしながら、毎年参加を楽しみにしている子ども達に、三密にならない環境下で、また違った形で身近に環境美化活動に親んでもらいたいとの願いから当事業を企画しております。

何卒、ご理解のほどお願い申し上げます。

貴重なご意見ありがとうございました。

(市民協働課 令和2年8月回答)